



© UNICEF/UN0154449/Nesbitt

## ヘンリエッタ・フォア

UNICEF（国連児童基金）事務局長

2018年1月1日に7代 UNICEF 事務局長に就任。それまで40年以上にわたって公的機関や民間企業、非営利団体を率い、経済的発展や教育、保健、人道支援、災害時の被災者支援などに貢献してきた。

2007年から2009年にかけて、女性として初めて米国国際開発庁（USAID）長官となり、国務省対外援助部長を兼任。年間総額395億ドルにも上る米国の海外援助を指揮し、災害からの復興や、経済的、政治的、社会的に発展を遂げようとする人々および国々を支援した。

USAID での在任初期には、アジア担当副長官ならびに民間企業担当副長官（1989年～1993年）も務めたほか、米国海外民間投資公社（OPIC）やミレニアム挑戦公社（MCC）の理事も歴任。2009年には国務長官から授与される賞の中で最高位の功労賞を受賞した。

2005年から2007年には、国務省の最高執行責任者である国務次官として、省内の人事、財務、施設、技術、安全に対する責任を担い、同省の運営に関して国務長官への首席アドバイザーを務めた。36億ドルの運営予算、職員7,200人、契約業者3万社、267の大使館、172カ国に配置された人員を監督した。

2001年から2005年にかけては37代米国財務省造幣局局長を務め、硬貨、勲章、記念貨幣の造幣所としては世界最大を誇る同局を率いた。2005年には財務省から贈られる最高位であるアレクサンダー・ハミルトン賞を受賞した。

UNICEF 事務局長就任の直前まで、製造・投資会社である Holsman International の会長兼最高経営責任者（CEO）を務めていた。また、アジア協会国際共同議長や Middle East Investment Initiative 議長、WCD（Women Corporate Directors）共同議長など数多くの米国内および海外の公共団体の理事会にも参加。さらに、戦略国際問題研究所（CSIS）、アスペン研究所、the Committee Encouraging Corporate Philanthropy（CECP）、世界開発センター（CGD）の理事も務めた。

米国ウェルズリー大学で歴史学の学士号を、ノーザン・コロラド大学で行政学の修士号を取得。既婚で4人の子供がいる。